

2018年
1月
第24号

いきいき近江

◇発行◇
一般財団法人
滋賀県老人クラブ連合会
会長 北沢 浩治
☎(077) 567-3930
◇編集協力・印刷◇
(株)博報社
大阪市平野区喜連西 4-6-69
☎(06) 6797-0212



第56回 滋賀県老人クラブ大会 (びわこ豊熟シニアクラブ大会)

平成29年11月16日(木)、滋賀県立文化産業交流会館において、第56回滋賀県老人クラブ大会を開催しました。

式典では、君が代斉唱の後、主催者を代表して北沢県老ク連会長が「『100万人会員増強運動』の5カ年計画最終年になりました。なんとしてでも会員減少に歯止めをかける、との思いで皆さまにはこれからもますますのご協力をお願いします」と力強くあいさつを述べ、各表彰へと移りました。

今年度は、知事表彰5名・2クラブ、会長表彰14名・10クラブが受章。また、全老連会長表彰で活動賞に2クラブ、100万人会員増強運動特別賞に野洲市老人クラブ連合会の表彰が伝達されました。

表彰に続き、池永滋賀県副知事をはじめ来賓の方々より祝辞をいただいた後、知事表彰を受章された中村良三さん(草津市)が受章者を代表して謝辞を述べました。その後、白井県老ク連副会長が大会宣言を高らかに読み上げ、式典は滞りなく終了しました。



式典後は、滋賀県警察本部から交通事故防止および特殊詐欺被害についての講話があり、会場全体で「いきいきクラブ体操」をして午前の部が終了しました。

午後は、大道芸人の田久朋寛さん(通称：たつきゅうさん)による講演がスタート。まず、風船や三角コーンなどを使ったパフォーマンスを披露し、会場から

驚きの歓声とともに拍手が湧き起こりました。そして「笑いと健康のすてきな関係」と題し、「笑う」ことがいかに大切かを説いてくださいました。

最後は、会場全体で「青い山脈」を合唱し、今年度の大会は盛会裏に閉幕しました。



会員の皆様には、平成三十年の新春をご家族お揃いで、健やかに迎えたいとお願い申し上げます。

平素は、それぞれの地域において、同世代の深いつながりをもとに、健康づくりや高齢者同士助け合いの支え合う活動、また、安全で美しいまちづくりや地域の文化、伝統を後世に伝える活動などに積極的に取り組んでいただき感謝申し上げます。

さて、わが国は、平均寿命世界一を誇る長寿国であります。本県においても、今般、男性の平均寿命が日本第一位、女性が前回より大幅に伸びて四位となり、さらに、県民一人当たりの年間医療費については、全国で首位と肩を並べるほど低い状況にあるなど、まさに健康で長生きの県となりました。

このことは、健康的で充実した生活をめざして日々活動している老人クラブにとっても自信が持てる同時に、ますます高齢化が進むこの社会において、さらに、健康寿命を伸ばす取組を進めることの大切さを感じさせるものであります。

ところで、最近、「人生



年頭のご挨拶

(二財)滋賀県老人クラブ連合会
会長 北沢 浩治

会長 北沢 浩治

「100年時代」という言葉をよく耳にするようになりました。年々寿命が延びて、九十歳は当たり前で、百歳まで生きる可能性がみんなの前に広がってきたといわれています。私たちは、これから、長くなった人生が、ますます健康で楽しく充実したものになるよう心がけ、前向きに生きていかなければなりません。そのため、助け合い、高め合い、ともに喜び合える仲間がますます必要になってくると思います。

地域の仲間は老人クラブでつながります。長寿社会において、一人ひとりの生活を豊かにし、また、地域社会で役割を果たしていくためにも、仲間が集う老人クラブはなくてはならないものであり、本年も、五年目となります。会員増強運動をはじめ、元気で魅力のある老人クラブづくりに努めなければならぬと考えています。会員の皆様のご協力、ご活躍をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



老人クラブ会員章

会員章を胸に 仲間の輪を広げましょう

お申し込み
お問い合わせ

- ・ 所属の市町老人クラブ連合会
- ・ 滋賀県老人クラブ連合会

100万人会員増強運動 平成26年度～30年度



ホームページをご利用ください

県老ク連では、クラブ会員や関係者の皆様に情報を伝えたり交流に役立てていただくためにホームページを開設しています。

市町老ク連の最新の会報も随時掲載しておりご意見をいただくコーナーもあります。

「滋賀県老人クラブ連合会」で検索できますので、ぜひご覧ください。



年頭のごあいさつ

滋賀県知事 三日月大造

あけましておめでとーございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、本県出身の桐生祥秀選手が陸上男子100mで、日本人で初めての九秒台を記録し、本県はもとより日本中が大きな感動に包まれました。

物、交通網等に多大な被害が発生しました。県民の皆さんの命と財産を守るため、平時からの備え、危機時の対応、早期の復旧など、災害対策に万全を期してまいります。

さて、本年は、平成二十七年三月に策定した県の基本構想の計画期間の最終年度を迎えます。知事就任以来、対話と共感、協働を大切に、県民の皆様と一緒に「新しい豊かさ」を実現できる滋賀を実現することをめざして施策を進めてまいりました。

その一方で、記録的な豪雪、台風による大雨や暴風など自然災害の多発する一年で、本県でも家屋や農作

た。昨年、琵琶湖を守るために活かし、好循環を生み出す「琵琶湖新時代」を築こうと呼びかけることに、世界と滋賀のつながりを考えて行動することを重視し、国連の持続可能な開発目標「SDGs」の取組を進めています。

皆様におかれましては、日頃から、生きがい、健康づくりの活動をはじめ、子どもたちや若い世代、高齢者など、地域の暮らしを支える中心的存在として、豊かな地域づくりに多大な貢献をいただいております。深く感謝申し上げます。

今後、多様化する地域課題に対応するにあたり、皆様の長年の経験やつながり

受章者一覧(敬称略)

優秀
椎野 義登 (甲賀市)
多田圭之祐(近江八幡市)
佳作
高田 英二 (栗東市)
筒木 勝代 (湖南市)
安原 敬一 (大津市)

【第五十六回】
滋賀県老人クラブ大会

滋賀県知事表彰

①老人クラブ育成指導功労者

浅見 末子 (大津市)
竹中 淑江 (彦根市)
中村 良三 (草津市)
駒井 修 (守山市)
田中 潤吉 (野洲市)

②優良老人クラブ

矢橋帰帆クラブ寿会 (草津市)

桜生老人クラブ(野洲市)

滋賀県老人クラブ連合会
会長表彰

山出老人クラブ(野洲市)

鳥居本老壮クラブ第2支部(彦根市)

下鈎老人クラブ長寿会(栗東市)

山上やまびこクラブ(甲賀市)

小川老人クラブ福寿会(甲賀市)

入町なごみ会(野洲市)

緑ヶ丘グリーンクラブ(湖南市)

上三十坪長寿会(日野町)

須恵老人クラブ(竜王町)

南野々目老人クラブ高砂会(愛荘町・秦荘)

長寺東和楽会(甲良町)

③永年勤続
内藤 貞男 (栗東市)

伊富貴鉄雄(米原市・伊吹)

北川ひさ子 (竜王町)

④第三十六回「豊熟シニアの主張」入賞者

藤村 修 (大津市)

藤田 治夫 (彦根市)

②優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

③優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

①老人クラブ育成功労者
小島 四郎 (大津市)
佐々木 修 (大津市)
植田 隆(近江八幡市)

前田 努 (草津市)
中森 武 (甲賀市)
浅野 賢治 (野洲市)
木村幸太郎(米原市・近江)
勝見 久男 (竜王町)

上林 健(愛荘町・秦荘)
福永 一枝(愛荘町・愛知川)
山本日出男 (甲良町)

②優良老人クラブ
鳥居本老壮クラブ第2支部(彦根市)

下鈎老人クラブ長寿会(栗東市)

山上やまびこクラブ(甲賀市)

小川老人クラブ福寿会(甲賀市)

入町なごみ会(野洲市)

緑ヶ丘グリーンクラブ(湖南市)

上三十坪長寿会(日野町)

須恵老人クラブ(竜王町)

南野々目老人クラブ高砂会(愛荘町・秦荘)

長寺東和楽会(甲良町)

③永年勤続
内藤 貞男 (栗東市)

伊富貴鉄雄(米原市・伊吹)

北川ひさ子 (竜王町)

④第三十六回「豊熟シニアの主張」入賞者

藤村 修 (大津市)

藤田 治夫 (彦根市)

②優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

③優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

①活動賞
健康づくり活動
河西ニータウン
鳩の森クラブ (守山市)

②地域貢献活動
山出老人クラブ(野洲市)

③100万人会員増強運動特別賞
野洲市老人クラブ連合会

④全国老人クラブ大会
厚生労働大臣表彰
育成功労
井上 昇 (大津市)

⑤優良老人クラブ
小井千栄子 (守山市)

⑥優良老人クラブ
林老人クラブ (竜王町)

⑦優良老人クラブ連合会
栗東市老人クラブ連合会

⑧全老連会長表彰
育成功労
藤村 修 (大津市)

⑨優良老人クラブ
藤田 治夫 (彦根市)

⑩優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

⑪優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

⑫優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

⑬優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

⑭優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

⑮優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

⑯優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

⑰優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

⑱優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

⑲優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

⑳優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

㉑優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会

㉒優良老人クラブ
野洲老人クラブ(野洲市)

㉓優良老人クラブ連合会
竜王町老人クラブ連合会



第46回 全国老人クラブ大会

平成二十九年十月十八日、十九日、「のぼる一健康寿命、担おう一地域づくり」をメインテーマに、第四十六回全国老人クラブ大会が、京都市「ロームシアター京都」を主会場に開催されました。

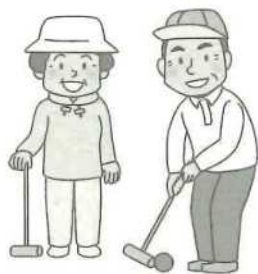
今大会は、高齢化が進行する社会にあつて、今後ますます重要となる健康づくり・介護予防活動や高齢者同士の支え合い、地域支援活動への参加、また、二十六年から進められている会員増強運動の一層の推進などを課題とし、昨年度に引き続いて、創造的な演じ



生き方に」と題した講演があり、続いて、宮津和貴宮神社氏子および子ども達による宮津祭「浮太鼓」の熱演があり参加者を魅了しました。

その後、式典において厚生労働大臣表彰および全国

滋賀県老人クラブ連合会



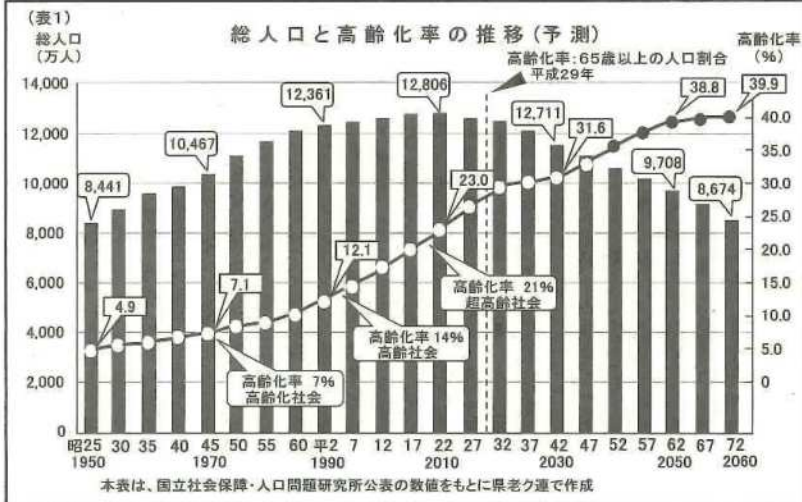
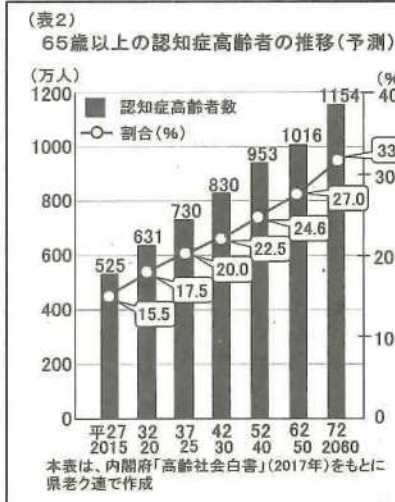
「人生100年」時代と老人クラブ

～心豊かな長寿社会の実現に向けて～

●高齢化の状況

わが国が、初めて「高齢化社会(総人口に占める六十五歳以上の高齢者の割合(高齢化率)が七%を超える状態)」と呼ばれたのは昭和四十五年で約半世紀も前のことです。その後、平成十九年には、世界に例を見ない速さで高齢化率が二十一%を超えて「超高齢社会」といわれる状況になりました。超高齢社会になつて十年経った現在、高齢化率は約二十七%にまで上がり、この先、国が四十年余り後の姿として予測する高齢化率約四十%の時代に向かつて一途に進んで行くことになりま

(表1参照)



三ページからの続き

「人生100年」時代となつて社会の高齢化が進むにつれて、医療や介護、生活維持の問題、高齢者の社会参加や就労など、行政の課題は膨らむ一方ですが、その中には、高齢者自身の生き方や活躍などによって、向上したり促進できるものも少なくありません。今後、圧倒的多数を占めることになる高齢者が、自らの生活を豊かにしながら、社会の重要な一員であることの自覚を深め、可能な役割について、積極的に活躍する気運を高めていくことがますます大切になります。

●「人生100年」時代への備え

「人生100年」時代では、高齢者それぞれが複雑な人生を歩むことが予想されますが、次のキーワードを重視した備えが必要不可欠といわれています。

- ①健康
- ②友人・仲間
- ③生きがい・目標
- ④生活の安定・安心感

健康であることや、仲間や生きがいを持つことによる肉体的、精神的な充実感や幸福感が、やる気や活力を高めたり、また、長年培ってきた技術や資格、経験を最大限生かして積極的に就

労したり社会活動に参加することは、達成感や有用感とともに、生活基盤を安定させることにもつながります。

それぞれのキーワードについては、そのほとんどが、これまで老人クラブが取り組んできた「健康・友愛・奉仕」の活動につながるものですが、近年、その取組の場面や方法は、老人クラブとは別のところでもいろいろ多様化してきました。

健康づくりや文化活動等を行う公的私的な趣味のサークル、ボランティア活動、有料のクラブやジム、競技団体等も増え、そこには友達もいます。また、従来の定年を超えて就労するのは社会の常識にもなってきたおり、シルバー人材センターで経験を活かして収入を得ている人も少なくありません。

●老人クラブの役割

高齢者が元気になるたり活躍する場が増えるのは喜ばしいことです。反面、老人クラブの立場からすれば、そのことも、若手高齢者を中心に、老人クラブへの関心や加入が遠退き、ひいては老人クラブの弱体化につながる一因にもなっている現実があります。

老人クラブは、「人生100年」時代にあつて、

地域の高齢者が身近なところに集つて交流を深めながら、地域社会の役割を果たし、ともに健康づくりなどの活動を楽しみ、また、気遣い助け合うことができるかけがえのない唯一の集まりであり、地域の高齢者のより所として、この先も必要な存在であることはいうまでもありません。高齢者が社会で多数を占めることになつても、老人クラブのまとまりがないと取り組めないことや実現しないことも数多くあります。

しかし、これからは、老人クラブも、生き残りをかけて、時代の流れや地域の実情に見合った老人クラブづくりに向けて、新たな仕組みや活動のあり方等を模索し実践していくことがますます重要になってきます。それは、老人クラブの実情からしてかなり苦手なことかも知れませんが、斬新で魅力的な発想ができる人やリーダーとして組織を牽引できる人を見出し育てながら、「人生100年」時代にふさわしい老人クラブづくりを進めていかなければ、老人クラブの発展や活動の充実は見えないと考えます。



「人生100年」時代 仲間を増やそう！

100万人会員増強運動

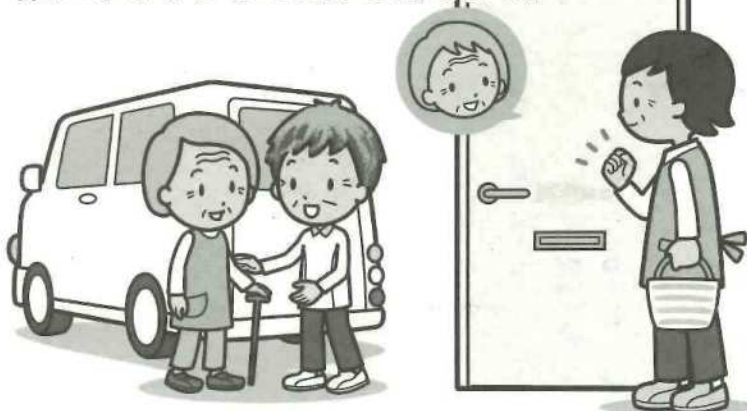
老人クラブは仲間づくりから…



- ・若手リーダーで元気なクラブづくり
- ・魅力的で参加しやすいクラブづくり
- ・仕組みや事業を見直して活動しやすいクラブづくり
- ・新しいクラブを作って会員減少STOP！

●支え合いの輪を広げる

ちょっとした手助けや声かけが支えになります。
誰にでもできることから始めよう。



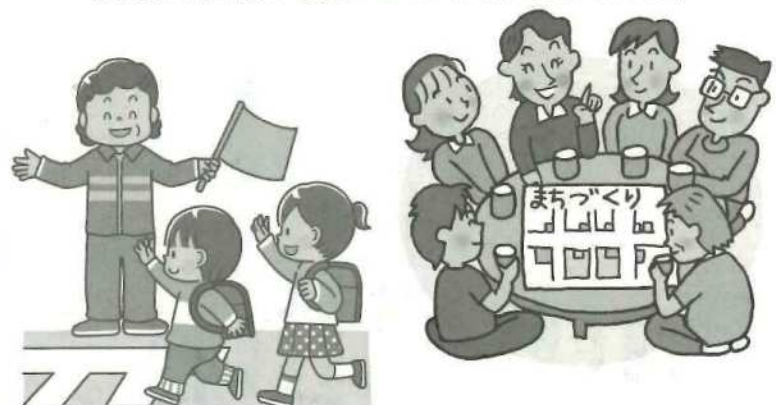
●健康寿命をのばす

仲間とともに、いきいき楽しく健康づくり。
長い人生、まず「健康で長生き」をめざそう。



●地域づくりを担う

高齢者は地域の主役、担い手になります。
智恵と経験、優しさで地域を支えよう。



地域の活動だより

友愛活動を基盤に 相互支援の輪を 広げるために

甲良町老人クラブ連合会

私たち高齢者は、会員同士や近隣が互いに知り合い支え合って暮らしています。が、昨今は、生活様式の変化等もあって、高齢者間でも関係の希薄化を感じずにはいられません。

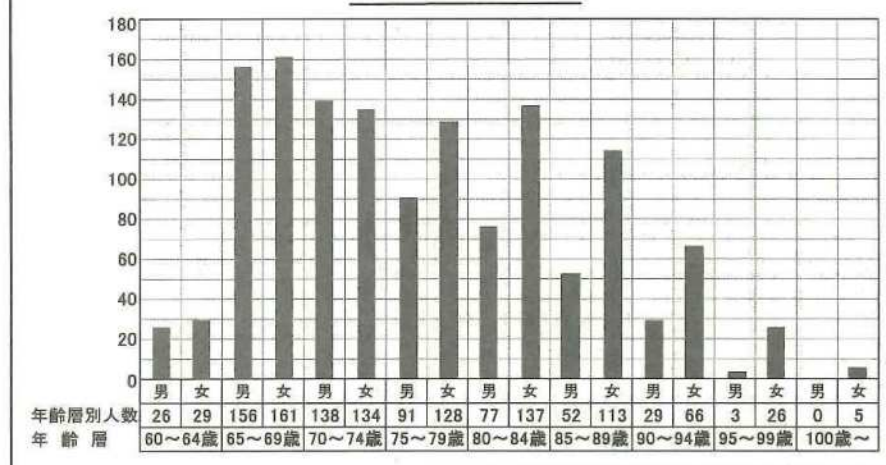
そこで、良いところや課題等も踏まえ、さらに、支え合いを広げるために、まず、会員一人ひとりの暮らしの状況を知り、安心できる暮らしづくりへの意識を高め、地域の特性も考慮して具体的な方策を構想したいと考えました。

◆全会員の年齢層の分布から考える

当町のクラブ加入年齢は、おおむね六十五歳以上で、各クラブでは、全員加入に向けて努力されていますが、その年齢ではなかなか加入

(表1)

年齢別構成人員グラフ



していただけない状況もあり、会員中の後期高齢者の割合は、五十二・七%となっています。また、クラブ単位で見ると地域の高齢化率は、最高で四十七・五%もあり、お祝いする九十歳以上の方は会員の二割を占めています。会員の高齢化や役員の状況等組織や運営面の課題も大きくなっています。が、今後の活動や組織づくりには、年齢構成や暮らしの実態を把握する必要があります。年齢層別の人数を調べました。(表1参照)

自分のまわりの高齢者(会員)の暮らしぶりは、同じ地域ならおおよそ把握できると考え、まず、単位クラブの役員さんにお願ひして、各会員の暮らしの情報を集めていただきました。(表2参照)

(表2)

「高齢者の暮らし方」集計表

項目	60~74歳			75歳~(後期高齢者)			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1. 介護施設に入所または病院に入院	2	0	2	9	36	45	11	36	47
2. ねたきりに近い状態で自宅介護されている	4	2	6	12	25	37	16	27	43
3. デイサービスに通所している	3	1	4	15	57	72	18	58	76
4. ひとり暮らし	13	10	23	6	37	43	19	47	66
5. 高齢者のみの世帯	52			80			132		
6. 生活支援が必要と思われる高齢者・世帯	2	2	4	3	9	12	5	11	16

※集計では、複数項目に重複して計上している人もおられます。

出かけたくなる サロン活動

野洲老人クラブ

一八八名の会員で運営する当会は、部会を中心にしていろいろな活動を行っています。が、特に、高齢者の引きこもりを防ぎ、人と人とのつながりを深め地域の活性化にもつながるサロン活動に積極的に取り組んでいます。その一端をご紹介します。

サロンは、社協等の支援を受け、自治会、民生委員、老人クラブが公募した

スタッフを中心に、年間スケジュールを決め、月々の活動テーマに沿って進めています。

サロンは、六十五歳以上の高齢者を対象とした「ふれあいサロン」と、井戸端会議的な「サロンこのさ」の2種類設けており、それぞれ月1回開催しています。

「ふれあいサロン」は、午前中ゲームや出前講座の勉強会、絵手紙、かるた、懐かしの歌声などで楽しみ、午後は、室内で輪投げやボーリング等の軽いスポーツで汗を流し、声を張り上げ楽しく過ごされています。また、「サロンこのさ」は、気軽に話し合える場がほしいとの希望をもとに、2年前に自治会等の支援を受けてスタートしました。午前中ですが、毎



回比較的若い女性を中心に、二〇〜三〇人が集い自由に会話を楽しまれています。

ただいまですが、望まれるのは、それぞれのさりげない友愛の心を原動力にして、支え合い支援し合える老人クラブづくりです。

日常的な訪問や声かけで安否がわかり、一緒にスパーに出かけることが買い物支援になるなど、生活支援が自然に生まれてくることを願っています。このようなことは、時間も熱意も労力も要ります。しかし、高齢者ならではの良さを生かし、リーダーが組織化して、生活支援の活動に会員を位置づけ、みんなが参加する友愛活動になればと考えています。

(上野 善久)



このような活動以外に、春には花見、夏はバーベキューや焼きそばづくりなども行なって親睦を深めています。また、社会学習として、二つのサロン合同で、年一、二回、市のバスを利用して工場見学なども行っていますが、毎回定員オーバーになるくらい盛況ぶりで、スタッフも対応に苦慮しているところです。

これらのサロン活動は、健康づくりもコミュニケーションも図れると喜ばれ、参加を楽しみにされている状況ですので、今後も、ますます活発になるよう努力をしていきたいと考えています。

(三久保謙次)



安土町老ク連の 新たな取組

安土町老人クラブ連合会

◆歌声喫茶を始めました

当会には九つの部会がありますが、そのひとつである教養部会の事業執行会議において「歌声喫茶」について意見が出されました。早速、実施に向けて検討し、六月二十一日、「西の湖すてーしょん」において第一回目を開催することになりました。

当日は、地元のアコーデオン奏者松永孝一先生に、リクエストに応じて、懐かしく親しみ深い数々の歌の伴奏をしていただきました。また、「シャンソンを弾いてー」との希望にも、さすがーさりと応えていただきました。大変盛り上がる中、またたく間に予定



の二時間が過ぎ大成功に終わりました。

二回目は、十一月二十二日に開催します。部会での検討をふまえて、今回は地元で活躍中のよし笛奏者近藤ゆみ子さんをお願いし、よし笛とピアノの二部制で行うことにしました。今回もたくさんの方々の参加で喜んでいただけると期待しています。このようなことを通じて少しでも健康づくりのお手伝いができればと、役員一同思いを新たにしているところです。

◆NPO法人の新たな取組

当会が積極的に参画して立ち上げたNPO法人「ねつとわく西の湖」は、平成二十八年六月から「西の湖力フェ」の運営と貸館業務、建物の営繕管理を行い、その実績については、先般、所定の手続を経て所管の行政機関に報告したところです。

ところで、当法人は、平成二十九年四月から、前記の業務に加えて新たに西の湖の自然を活かした「観光和船」の舟航と鶏を使った郷土料理「じゅんじゅん」を提供する取組で事業を広げました。観光和船については、これまで他の事業者が行って



きましたが、継続が心配される中、観光資源の活用と地域の活性化を図るためには今後も続けていく必要があるとの観点から慎重に検討したうえで、法人業務として引き継ぐことになりました。

船五隻、船頭十人、調理人三人を確保して体制を整え、そのために新たに二部会を設けるなど、法人の規模も拡充しました。この事業について共通理解を図るために、月一回の定例会で経営状況等を報告していま

す。 「西の湖すてーしょん」を活動の拠点として、観光分野にも進出したところですが、老ク連としては、法人の中核として、自然に親しむ環境づくり活動として、日々取り組んでいきたいと考えています。

（末房 松三）

後世に語り継ぐ 「草津記憶絵」づくり

草津学区老ク連



昭和三十年年代の草津の風景を後世に残そうと、平成二十五年六月、河崎先生の指導のもと「草津風景の記憶絵製作プロジェクト」が立ち上がり、草津学区老ク連の各老人クラブが全面的に協力することになりました。

まず、各町内の高齢の方々にお集まりいただきたい。昭和三十年年代の草津がどのような姿であったか六回にわたって聴取、個人への聴き取りも四件行いました。

天井川で有名な草津川（今では移設され跡地は公園として市民の憩いの場になっている）では、競馬や演芸会が開かれ、花見でも大賑わいだったこと、また、八月と十二月には「草津大市」が開かれて近隣町村からも多くの買い物客が訪れたこと、東海道の宿場から商店街に変わった通りに

はかつて屋号を掲げた店が並んでいたことなど、各会場とも色とりどりの思い出話に花が咲き、新たな交流も生まれました。

集まった資料をもとに、毎月一回定例会を開いて屏

地域を見守る シニアサポート隊

大津市瀬田学区
シニアクラブ連合会

午後三時 児らを見守るイエローベスト

瀬田学区では、平成十六年から自主防災防炎会を主体に、各団体による児童の下校時の見守り、スクールガード活動が続けています。平成二十七年には、シニ

まず、各町内の高齢の方々にお集まりいただきたい。昭和三十年年代の草津がどのような姿であったか六回にわたって聴取、個人への聴き取りも四件行いました。

天井川で有名な草津川（今では移設され跡地は公園として市民の憩いの場になっている）では、競馬や演芸会が開かれ、花見でも大賑わいだったこと、また、八月と十二月には「草津大市」が開かれて近隣町村からも多くの買い物客が訪れたこと、東海道の宿場から商店街に変わった通りに

はかつて屋号を掲げた店が並んでいたことなど、各会場とも色とりどりの思い出話に花が咲き、新たな交流も生まれました。

集まった資料をもとに、毎月一回定例会を開いて屏

り、地域の安心安全のため、事故等の未然防止とシニアクラブ活動の普及に微力ながらお役に立ちたいと願っております。

イエロー防犯ベストの着用は、自分自身のサポートにもなり、高齢者を狙う悪質詐欺や悪徳商法に対する毅然とした対応を心がける一助にもなれば幸いです。



学区のスクールガード活動にも隊員が参加してお



た。今後、まとめた資料をもとに、子どもたちもお地蔵様を巡る予定です。また、次代を担う子どもたちが、地域の文化や歴史を身近に感じながら体験を広げることなどを目的に、民具や昔のオモチャを使ったり遊びなどで交流していますが、今後も、子どもたちの成長を願いながら、続けていきたいと思っています。

（野田 和雄）

（内田 保弘）

県老ク連の研修活動

県老ク連では、老人クラブの役員や会員、老ク連の事務局員を対象に研修会や講座を実施しており、7月3日には、老ク連の創造推進員と健康づくりリーダー等の研修会を開催しました。

午前中は、全員合同で講師の山崎旭男先生から「より豊かな健康を求めて」のテーマで講義を受け、午後は、担当別に研究協議とスカットボールなどニュースポーツの講習を行いました。



「人生100年」時代を元気に心豊かに生きていくためには、まず健康であること、そして、同年代の仲間同士が支え合い協力し合って生きがいのある生活を目指し、また、地域づくりの担い手としての役割を果たしていくことがますます大切になります。

県老ク連は、老人クラブが、これからの時代を支える高齢者のより所となるよう、啓発や実践につながる学習活動を進めていきたいと考えています。

(事務局)



を除いて、かなり活発に行っていたといえます。全国的三大運動「健康・友愛・奉仕」を柱に取り組む活動のうち健康づくりについては、ニュースポーツを含む年三回のスポーツ大会や健康料理教室の開催、友愛活動については、高齢者の家庭への友愛訪問、また、奉仕活動としては、町行事も含めた月一回の環境美化活動や女性部による福祉施設の清掃奉仕等を行っています。

その他の活動として、老人クラブ大会の開催や金婚を迎えられた方のお祝い、功労者の表彰、人権学習、交通安全教室、年二回の研修旅行、文化祭など町行事への参加、協力なども積極的にを行っています。また、組織にとって大切な広報活動については、年二回「竜

寿の友」を発行して、情報の伝達や老人クラブのPRにも努めています。これらの事業については、老ク連の六部会(教養・健康・社会・生活安全・女性・広報委員会)がそれぞれ担当する部分を決めて、部会長が中心となって計画し実行します。

(山田 東吾)

竜王町老ク連の活動

私たちの町竜王町は、東西二つの山並みに囲まれ、また、そのもとを流れる二本の一級河川に囲まれた農村地帯です。そのような環境ですので、老人クラブ活動についても、新興住宅地

を除いて、かなり活発に行っていたといえます。全国的三大運動「健康・友愛・奉仕」を柱に取り組む活動のうち健康づくりについては、ニュースポーツを含む年三回のスポーツ大会や健康料理教室の開催、友愛活動については、高齢者の家庭への友愛訪問、また、奉仕活動としては、町行事も含めた月一回の環境美化活動や女性部による福祉施設の清掃奉仕等を行っています。



余談ですが、今年度教養活動部が計画した老人クラブ大会については、十月の台風二十一号の影響で河川が決壊して家屋に浸水被害が出たため、やむなく中止せざるを得なくなり、関係の方々大変迷惑をおかけしました。

消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知しましたのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事を改めて告知致します。管理番号(わ)283 訴訟取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

また、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受理され、執行官立ち会いの下、給与等の差押え及び動産、不動産物の差し押さえを強制的に履行させていただきますので裁判所執行官による執行証書の交付を承諾していただくようお願いいたします。

尚、訴訟取り下げなどのご相談につきましては、当局にて承っておりますので下記までお問合せ下さい。

書面での通達となりますのでプライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきますようお願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成30年●月●日
法務省管轄支局 国民訴訟告知管理センター

東京都千代田区霞が関●丁目●番●号

取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-●●●-●●●●

受付時間 9:00~20:00(日、祝除く)

何の料金かわからないよう
あいまいに記載されて
います。

裁判や訴訟に関する
通知がはがきで届くことは
ありません。

記載されている期日の
直前に届くため、慌てて
電話をかけてしまわないよう
注意してください。

民事訴訟管理センター、
国民訴訟通達センター、
国民訴訟告知管理セン
ターなど、法務省の機関を
名乗っていますが、実在
しません。

架空請求はがきに くれぐれもご注意を!!

- 平成29年3月以降、架空請求はがきに関する相談が急増しており、特に50~60代の女性に多く届いています。
- 「訴訟」「裁判」「差し押さえ」など不安をあおるような言葉が書かれています、身に覚えのない請求には、慌てて連絡せず、無視してください。
- こちらから連絡をすると、弁護士を名乗る者が出て、訴訟取り下げ料金等を請求されます。また、個人情報聞き出される可能性があります。
- プリペイドカードでの支払いを要求されたら、詐欺を疑いましょう。
- 不審なはがきが届いたり、心当たりのない請求を受けたら、お近くの消費生活相談窓口にご相談ください。



消費者トラブルにあわれたら、まずはお電話ください。

滋賀県消費生活センター ☎0749-23-0999 〒522-0071 彦根市元町4-1

相談時間/平日・土日 午前9時15分~午後4時(祝日・年末年始は除く)

【JR彦根駅 徒歩5分】

または、消費者ホットライン ☎188(いやや)へ(滋賀県消費生活センターや最寄りの市町の相談窓口につながります。)

みなさんから寄せられた情報は、集約することで今後の被害防止に活かされます。情報提供をお願いします。

仲間づくりから
地域づくりを
積極的にゆうゆう甲賀クラブ
土山支部

超高齢社会を迎え、私たちにますます活動の場が広がっており、仲間づくりを通して、まず病気を寄せ付けない「健康づくり」に、さらには地域を豊かにする「地域づくり」に取り組むことが求められています。

しかし、老人クラブは会員の減少が続いており、次第に活動が難しくなっています。新しい会員になかなか加入してもらえないのは、活動の中身にも関係ありそうです。

今の活動内容を見てみると、多くは七十歳代後半から八十歳代前半を中心とした、カラオケ、グラウンドゴルフ、囲碁将棋、健康体操、ゲートボールなどです。団塊世代ではまだまだ働くことが生活の中心となっていますが、十年もするとこれらの仲間入りの時代がやってきます。また、八十歳代と六十歳代では二、三のの違いがあり、思い切った活動内容を世代別に分けてみるの必要かもしれません。

そこで、まず「やりたいことを言葉にして伝えること」、「自分の得意分野や夢を書き出すこと」、そして地域の疑問を解決するための一歩を踏み出すことです。始めは躊躇するかもしれませんが、自分のプライドや過去の栄光を捨て、謙虚に自分の持つ力に自信を持ってスタートすることです。また、仲間づくりにあたっては、みんなが声をかけ合い、クラブの魅力をアピールして一人でも多くの会員を増やし、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに協力することだと思っています。

(堤 英隆)



に沿った活動を展開することです。まずは仲間づくりですが、町おこしや防災など、義務的地域活動への期待は非常に大きいのです。一方、多くの人は「何かやりたいのだが、どうすればいいのかわからない」という印象です。

子どもたちと一緒に
楽しい「花いっぱい運動」米原市
山東老人クラブ連合会

当会の「花いっぱい運動」は、平成八年に、先輩たちが、この運動を通して、明るいまちづくりの一翼を担い、地域の活性化に貢献し、そして会員相互の親睦を深める目的で始められました。

が、数知れない先輩会員の方々の努力のおかげで、今年二十一年目を迎えました。ところで、全国的な傾向のようですが、当会においても、高齢化の進行とともに脱退される老人クラブが増え、そのような中、クラブが弱体化し、活動に魅力がなくなり、また、役員のなり手がいないなど、老人クラブ活動を暗雲が覆うようになりました。このような状態が進むのを食い止めるためにも、今、老練活動の抜本的な見直しを求められています。

その流れの中で取り組んだ今年の「花いっぱい運動」は、大東中学校のボランティア部や山東幼稚園のご協力により、新しいかたちで展開



(瀬戸川恒雄)

することができました。この取組により、子どもたちと楽しく交流でき、豊かな町づくりにも微力ながらお手伝いできたことを実感しました。今後の老人クラブ活動に一筋の光明が差した思いがいたします。

何より、大東中のボランティア部の皆さんが、ほぼ一ヶ月間毎日苗に水やりをしていた大変助かりました。六月十四日には山東幼稚園の四、五歳児と会員が一緒に、プランターへの土入れ、マリーゴールドやベゴニアの定植作業を楽しくにぎやかに行いました。子どもたちから元気をもらって気持ちも若返り、あちこちで園児との会話が弾むなど、これまでの活動からは考えられない和やかな作業となりました。作業が終わって園児が帰る時には大きな拍手で見送りました。

このように、今年の「花いっぱい運動」は思った以上に大きな成果を上げることができました。今後の老人クラブ活動について、新たな方向が示されたと感じています。

後期高齢者医療制度の被保険者の皆様へ

平成30年4月1日から
保険料の軽減内容が変わります

■被用者保険の被扶養者であった方の均等割額の軽減割合が変わります

平成29年度 制度の加入年数に関わらず 均等割額 7割軽減

平成30年度 制度の加入年数に関わらず 均等割額 5割軽減

- 所得割額は引き続き課されません。
- 所得が少なければ、所得が低い方に対する軽減が受けられる場合があります。

■所得割額の算定基礎となる所得の額が58万円を超えない方の所得割額の軽減割合が変わります

平成29年度 所得割額 2割軽減

平成30年度 所得割額 軽減なし

◆おひとりごとの保険料の額は、平成30年7月に郵便でお知らせします。

◆均等割額9割軽減、8.5割軽減に該当される方の軽減割合は、内容に変更ありません。

平成30年8月1日から
高額療養費の自己負担限度額が変わります

■平成30年8月1日から、高額療養費の自己負担限度額が次のとおりとなります。

割合	所得区分	外来(個人)	外来+入院 (世帯単位)
3割	年収約1,160万円～ 住民税課税標準690万円以上	252,600円+1%※注 <140,100円>	
	年収約770万円～1,160万円 住民税課税標準380万円以上	167,400円+1%※注 <93,000円>	
	年収約370万円～770万円 住民税課税標準145万円以上	80,100円+1%※注 <44,400円>	
1割	一般		18,000円 「年間(8月～翌7月)14.4万円 上限」
	住民税 非課税	区分Ⅱ 8,000円	24,600円
		区分Ⅰ	15,000円

※注 医療費が267,000円を超えた場合は(医療費-267,000円)×1%を加算します。

<>内は年4回以上利用する多数回該当時の4回目以降の負担額です。

会員増強への

アプローチ

大津市
第2グリーンハイツ
ぷらちな会



当会は、昭和五十五年頃から瀬田川洗堰右岸に住宅開発された地域の一角にある一四〇世帯の町の小さなクラブです。

平成十五年に老人会が発足して以来、毎月一回の例会のほか、グラウンドゴルフ、詩吟、ダーツ、カラオケなどの同好会もできて活発に活動してきましたが、最近では会員の減少に悩まされています。

対象となる高齢者は団塊の世代のリタイヤとともに増えているのに、皆さん老人会には振り向いてくれません。元気な高齢者は、趣味や健康に関しては、それ

ぞれ独自のものを持っていて自由に楽しんでおられるようです。

そこで、健康や趣味など自分のための活動だけでなく、地域のための活動も必要なのではないかと、老人会の外郭活動として「高齢者の日常生活支援サポート会員」を募集したところ、九名の会員が集まりました。地域のために何かしたいと考える人は大勢いることがわかり、これは新鮮な発見でした。

早速四月から活動を開始し、十月までの七ヶ月間に、病院や買い物などの送迎サービスを五十七回行い



ていかなことが気がかりな点です。「知らない人に頼むのはどうも・・・」と遠慮してしまうようです。やっぱり、ご近所同士、顔の見えるお付き合いが基本にないと、せっかくの事業も広がっていかないことになりそうです。

そこで、次のステップとして、県老ク連の「生活支援実践モデル事業」の補助金を受けて、自治会館を利用した「気軽に集える高齢者の居場所づくり」を計画しました。一年後、よい報告ができるように、こちらも頑張りたいと思います。

(前田 宏靖)

健康づくり

活動等の取組

守山市
河西ニュータウン
鳩の森クラブ

当会は、高齢化社会において、安心・安全で元気あふれるまちづくりに向け、自治会活動等にも参加、協力しながら、少しでも貢献できればと活動しています。活動に当たっては、まず心身が健康であることが会員の協力が重要であるため、次のことを実行しています。

①会員相互の親睦と助け合いをもとに、お互い教養を高め合いながら、家族

や周りの人からも敬愛されるように心がける。

②健康の維持増進を第一に考えて病気や老化の予防に努めながら、運動等活動に積極的に取り組む。

③地域社会に奉仕、貢献する気持ちを持ち、また、他の地区等との親睦や交流で視野を広げる。

④レクリエーション活動は、それぞれ趣味や特技を生かして、楽しいひとときが過ごせるよう努める。

老人クラブを維持発展させる原動力は、まず活動を推し進める積極性ですが、当会では、特に健康づくりについて、次の活動を意欲



的に展開しています。

健康づくり活動を実践しているのは次の四クラブで、各クラブに世話役、地区ごとに担当を置いて効率よく運営しており、準備は参加者全員が協力して行います。

①グラウンドゴルフ

(毎週月曜日)

②カラオケ(毎週水・金曜日)

③健康マージャン

(毎週水曜日)

④百歳体操(毎週火・金曜日)

どの活動も、健康増進や認知症予防に役立つので、どしどし参加されるよう呼びかけています。

地域との関わりでは、自治会

が毎週開催して

いる要介護者対

象の「いきいき

広場」にボラン

ティアとして積

極的に協力し、



年四回開催される「ほほえみサロン」にも参加しています。近隣自治会とはグラウンドゴルフで交流しています。また、小学生の登下校時には、「見守り隊」として、二人一組で横断歩道等で安全を守る活動を続けています。

その他、昔遊びやグラウンドゴルフで子どもたちと交流したり、参加できる会員で、グラウンドの除草奉仕作業も行っています。

(小早川 孝)

健康づくり推進員

出前講座

だより



県老ク連では、健康づくり支援事業として、各市町老ク連、支部、ブロック・学区老ク連および単位クラブが行う健康づくりの行事等に、出前講座として健康づくり推進員を派遣しています。内容は、

- ①ニュースポーツ ②健康体操
③体力測定 ④料理教室

などで、皆様の健康づくりをサポートしています。

今年度は、57回(11月末現在)の出前講座を実施し好評を得ています。出前講座への健康づくり推進員の派遣費用(謝礼、交通費、資料代等)は全て県老ク連が負担します。

お申込みは 市町老ク連を通じて、県老ク連まで

会員からの原稿募集要領

◆該当する「テーマ」を明記し、四〇〇字程度でお願いします。

- ①健康づくり ②友愛活動 ③奉仕活動
④伝承活動 ⑤世代間交流活動
⑥組織の活性化 ⑦魅力ある老人クラブ
⑧その他のテーマ(雑感含む)

◆各号お一人様または一団体一作品とさせていただきます。

◆原稿締切：特にありません。

◆原稿等送付先

〒525-10072

草津市笠山七丁目8番138号

県立長寿社会福祉センター内

滋賀県老人クラブ連合会事務局



平成29年度若手リーダー養成研修



本県では、昭和三十二年頃から県下各地で老人クラブづくりが始まり、市町においては連合会の設立が進みました。その流れの中で、昭和三十七年には全国老人クラブ連合会、滋賀県老人クラブ連合会が設立されて今日に至っています。連合会設立後数年のうちに、高齢者の人口が七%を超えて、初めて「高齢化社会」と呼ばれる状況になりました。

昭和三十八年に老人福祉法が制定されたこともあって、老人クラブの会員は、高齢化の進行とともに増加の一途をたどって、平成九年にはクラブ数が最多となり翌年には会員数がピークを迎えました。その頃は、対象となる県下の高齢者(八十歳以上)の約半数が、県老ク連の会員といった状況でもありました。

しかし、その頃を境にクラブも会員も減少に転じ、今日では、県下の加入率(行政の補助を受けているクラブの会員数)は、対象者の約二割と低くなり、県老ク連への加入は、さらにその半数程度と少なくなりまし

た。

このことは、全国的な傾向でもあります。半世紀余りの間に、就労や余暇の利用方法など高齢者の行動様式が大きく変わり、また、老人クラブに対する認識も変化して、特に団塊の世代を中心とする若手といわれる年齢層の加入が進まなくなったことが大きく関係しているように思われます。

県老ク連では、老人クラブ組織の高齢化を改善するには、若手高齢者の加入と、時代にあった魅力的な老人クラブづくりができる若手リーダーの養成が必要不可欠と考え、まず、リーダーづくりに一歩を踏み出しました。

今年度は、八月三十一日に、「夢ころば」を主宰する松尾やよい氏を講師に、楽しみながら人との関係づくりができる「コミュニケーション麻雀」と円滑な組織運営に向けた活動のあり方等を考える講座を実施しましたが、参加者が若手ということもあって、活気のある一日となりました。



老人クラブ 3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限り、年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1 24時間型					
〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉					
ケガをした時の状況 補償内容					
年間掛金 10,000円 5,000円 3,500円					
ケガをした時の状況 補償内容					
死亡保険金 170万円 217万円 387万円					
後遺障害保険金 170万円 85万円 194万円					
入院保険金 4,000円 2,280円 3,140円					
通院保険金 2,600円 1,700円 2,150円					

※「24時間型」の職種級別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

- 職種級別B級に該当するおもな職種
 - ・建設作業員、自動車運転者、採鉱・採石作業員などの傷害リスクの高い職業。
 - ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
 - ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

2 活動型			
〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉			
ケガをした時の状況 補償内容			
年間掛金 2,000円 1,000円 500円			
ケガをした時の状況 補償内容			
死亡保険金 170万円 85万円 45万円			
後遺障害保険金 170万円 85万円 45万円			
入院保険金 4,000円 2,000円 1,000円			
通院保険金 2,600円 1,300円 650円			

ご注意

クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償：支払限度額1億円



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係
TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号
〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00967 平成29年4月作成 4

ご意見をお聞かせください!

老人クラブや県・市町老ク連は、結成されて半世紀以上経過した現在、様々な課題を抱えて悩んでいます。

老人クラブという呼称が時代にマッチしない、誘っても仕事や他の活動等を理由に断られる、メリットがない、魅力がない、役員にさせられる、などいろいろな理由で入会してもらえなかったり、また、過疎化や役員のなり手がないたため維持できなくなったクラブもあります。

結成当時には考えられないほど高齢化が進んで高齢者が特別な存在でなくなってきたこの社会におけるクラブ組織や活動のあり方については、将来も視野に入れながらしっかり考えてみる必要があるように思われます。

そこで、今後、老人クラブの存在感を高め活性化させていくことを目標に、成功例、失敗例などいろいろなご経験のある皆様方からぜひご意見をいただきたいと思ひます。

ご意見をお送りいただく場合の県老ク連の住所については、9ページの原稿募集要領をご覧ください。

FAXの場合は、077-567-3932 までお願いします。

特殊詐欺は絶対許しません!

特殊詐欺の被害は依然後を絶ちません。

「もうけ話」や「お金の還付」などの連絡は絶対ありません。

また、「オレオレ詐欺」や「架空請求」の被害もあります。

「自分だけは…」の人もだまされます。

気になることがあれば、まず誰かに相談してください。



★まちがい探しに挑戦!

2枚の絵の8カ所のまちがいがわかりますか?

会員文芸

▼俳句

見えずとも香りで知らせる金木犀
草津市 角田眞智子

朝日背に一分ちぢめて桜みち
草津市 筒井 滋子

音たてて風に舞散る柿落葉
草津市 平井千代子

梅の枝切りてさみしい大木が
守山市 村上美恵子

▼短歌

咲く夜は星を仰いで堂々と
一夜で尽きる月下美人
草津市 角田眞智子

二度三度寄りくる子猫追ひ払う
内なる邪心哀しくもあり
草津市 久保 光子

故郷の歌テレビにて流れ聞く
遠い思い出つぎつぎ偲ぶ
草津市 平井千代子

幼な子がジャングルジムの家の中
よちよち登る笑顔満点
守山市 村上美恵子

恵方巻大葉の香りで食進み
遠回りしてCD買いに行く
湖南市 野坂 房子

手の平を見つめておりぬ生命線の
長く延びるは良きかわろさか
甲賀市 山田婦美子

▼川柳

近江八幡市安土町 大川 勇
嫁に来て老いて一人の家の女
御先祖まつり余命生き生き

草津市 角田眞智子
咽ヒクヒク何が言いたいの雨蛙

草津市 筒井 滋子
老ふたり手押車で日向ぼっこ

草津市 平井千代子
一人でも金はなくなるづみたまる

守山市 村上美恵子
あれこれと思うがごとく冬の暮

愛荘町 上林 恒子
さあ仕事よいしょの掛声友として

近江八幡市安土町 大川 勇
寺詣り一升袋に願ひ米

米原市 磯崎 文江
曾孫から手紙くるなり嬉し顔

▼詩

高島市 清水 茂
幾様の夢

夢を振り返る
過ぎた夢 夜の嘘の夢 叶わなかった夢
罪のある夢 プラトニツクな夢 現実に
なった夢

感謝も希望もある
星の数ほどあるかも知れない
夢に寄り添って生きたい。

文芸作品募集 あなたの作品、応募してみませんか?

- ◆俳句、短歌、川柳、情歌の部門を募集します。(冠句はありません)
- ◆応募は、「ハガキ」に一人あたり1部門1作品(厳守)とし、どの部門の応募かを明記してください(1枚のハガキに書く部門の作品各1点を記入することはできますが、同一部門の作品が2点以上ある場合は無効となりますのでご注意願います)

- ◆読みにくい文字やあて字には、必ずふり仮名をつけてください
- ◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所属する市町老ク連名を明記してください
- ◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承ください
- ※締め切り、送付先は9頁の会員からの原稿募集要領をご覧ください



県老ク連の女性委員会は、十名の委員からなり、私もその一員として参加させていただいています。

委員会は、年間の事業計画に沿って活動を進めていますが、各委員からは、市町老ク連女性部の活動、例えば手芸教室、花づくり、料理教室、友愛訪問に持参する手作り品、健康講座、グラウンドゴルフなどについて報告もありました。また、後を絶たない特殊詐欺について、実際に電話がかかってきた真に迫る体験談も話していただき、あらためて、甘い話に乗って被害に遭わないように、冷静に対応することの大切さを実感しました。



女性委員会に参加して

大津市老人クラブ連合会
松田千江子

十一月の県老人クラブ大会では、前日の準備から当日の受付、いきいきクラブ

でもおしゃべりはしたいものです。単位クラブで広めていただければと願っています。



いくつになっても



そこで習った指編みマフラーを出前講座として二カ所で講習しました。



体操のモデルなど運営の一翼を担いました。また、全国老人クラブ連合会が行うリーダー研修会や在宅福祉を支えるセミナーにも参加しています。

ニュースポーツの普及団体です。

健康づくりに！ 介護予防に！ 仲間づくりに！
ニュースポーツを始めませんか？



公式ワナゲ



スカイクロス



マグダーツ



トリコロキューブ

事業内容

- 普及活動
 - ・講習会の実施
 - ・講師の派遣
 - ・用具の貸出
- 用具販売
 - ・ニュースポーツ用品の販売

「いきいき近江」をご覧になった方に特別割引で販売いたします。

その他たくさんの種目があります。お気軽にご相談ください。

■お問い合わせ先、パンフレットの請求先

特定非営利活動法人
フレンドリー情報センター
〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-12-23 3F
TEL. 06-6971-9190 FAX. 06-6981-7470
URL: <http://www.newsports-21.com>

編集後記

新年おめでとうございます。

我が国は、ますます長寿化が進み、「人生100年時代」といわれるようになりました。私たちは、老人クラブをよりどころに、まず「健康で長生き」を目指し、ともに喜び、楽しみ、ともに支え合う仲間づくりを進めたいと思います。

この「いきいき近江」が、老人クラブ活動に対する理解や仲間としてのつながりを深め、また、老人クラブ活性化の一助となりますよう努力してまいりますのでご協力よろしくお願いいたします。

(広報委員会)

最近、全国的に老人クラブの会員の減少が深刻になっていますが、女性パワーを発揮して、仲間を増やす活動を盛り上げたいものです。

少子高齢化が急速に進む中、高齢者のひとり暮らしや高齢者だけの世帯が急増し、また、認知症傾向の高齢者も、五年間で約百万人のペースで増えて続けています。国は、七年后には高齢者五人に一人、高齢者が人口の約四割を占めることになる約四十年後には三人に一人が認知症になると見込んでいます。

高齢者の生活支援は、行政や介護保険制度が直面する大きな課題であり、現在、各市町において支援の仕組みづくりが進められています。この市町の取組には老人クラブも可能な協力をすることになります。老人クラブとしては、見守りや訪問、生活の応援、居場所

「人生100年」時代といわれるように、長寿化が進んで人生の後半が長くなれば、生活も活動の幅も広がって人生を楽しむこともできる反面、ますます高齢となったひとり暮らしの人や認知症傾向の人などは、家事や生活上のちょっとしたことでうまくいかないことが増え手助けが必要となります。

高齢者の生活支援は、行政や介護保険制度が直面する大きな課題であり、現在、各市町において支援の仕組みづくりが進められています。この市町の取組には老人クラブも可能な協力をすることになります。老人クラブとしては、見守りや訪問、生活の応援、居場所

その一環として、平成二十七年から、県の支援を受けて、生活支援活動についての啓発や支援に関わる人材を育てる「生活支援サポーター養成講座」を県



平成29年度 生活支援サポーター養成講座

地域によっては、今でも隣人同士の気遣いや助け合いなど自然で温かい関わりが見られますが、老人クラブの活動として取り組む時には、その意義や高齢者として何ができるかといったことの検討や意識づけと合わせて、実践に向けての意欲や資質を高めるための取組も必要となります。

内各地で、地元老ク連の協力を得ながら実施しています。今年度は、今までに、三会場において、栗木剛氏、山下憲昭氏、松尾やよい氏を講師に、合計約四百人の参加で開催しましたが、それぞれ非常にわかりやすく活動への意欲にもつながる内容であり好評でした。今年度内に、さらに二会場で開催する予定です。

(事務局)

